

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 4月 26日

事業所名 KID ACADEMY 吹田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		必要に応じて机の配置を変える等の対応を行い、お子様が安全で快適に過ごせるよう、カリキュラムに集中して取り組みやすいような環境づくりをしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		定められた有資格者を適切に配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		使いやすい、わかりやすい環境づくりを行っております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日掃除、換気、消毒を行っております。活動に合わせて、家具や教材を配置しております。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的にミーティングを行い、業務の改善に努めています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		カリキュラム研修だけでなく、人権や虐待に関する研修等も取り入れています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		面談や送迎時に頂いた意見や、定期的な振り返りで課題を共有し、児童発達支援計画に反映しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的なケース会議を実施し、必要だと思われるカリキュラムの立案や見直しをしております。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		前回の姿等を話し合い、カリキュラムを組み替え、固定化しないよう工夫しております。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		お子様の様子やご家庭からのご希望に応じて、児童発達支援計画を作成しております。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		当日利用児の情報共有とカリキュラム内容について打ち合わせをしております。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援時の様子や保護者様からのお話を記録し、支援についての話し合いを行っております。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、見直しが必要かどうか話し合っています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		コロナウイルス感染予防のため開催はされませんでした。開催された場合は感染予防に注意し、参加していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて関係機関と連絡を取り合い、連携した支援を行えるように取り組んでおります。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		園訪問や電話での相談を実施し、情報共有を行い、連続した支援が行えるように取り組んでおります。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			今年度はコロナウイルス感染予防のため研修に参加しておりませんが、今後は感染予防に注意し、研修に参加も検討していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		事業所として交流事業はコロナウイルス感染予防のため、実施しておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の送迎の際にお子様の状況や課題について話をする機会を設けています。必要に応じて個別に相談の時間も設けています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っております。随時不明な点は説明するようにしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		定期的にモニタリングを行い、支援内容を説明し、同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		希望に応じて相談を受け付けています。定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナウイルス感染予防の為、保護者会等は実施しておりません。感染予防を行い、実施できるよう検討中です。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月のおたよりにて活動概要や連絡事項等の情報を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			個人情報が記載された書類は鍵付きロッカーにて保管しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもの理解力や特性、コミュニケーション能力に合わせて、伝え方等を工夫しています。 保護者には用紙に記入してお渡しする等を行っております。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		感染症予防の観点からも実施しておりません。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			マニュアルについて対応方法等の確認を行ったりしておりますが、周知・訓練について十分でない部分もあるため、改善に努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		お子様と一緒に訓練を行うようにしています。	全てのお子様に参加することは難しい為、定期的に行うようにしております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメントで聞き取りをし、確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事提供は実施していません。アレルギーの確認を保護者に行っています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		危険な事例等があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		社内研修を行い、虐待への認識を高めています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを共通認識とし、行った場合は記録に残すことにしています。保護者に重要事項説明書、契約書に記載し説明しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。